



日本語学会

The Society for Japanese Linguistics

2025年度
秋季大会

2025年10月25日(土)・26日(日) オンライン開催

10月25日(土)

口頭発表		A会場 (Zoom1)		B会場 (Zoom2)		C会場 (Zoom3)	
セッション1	司会(補助)	堤 良一 (田村 早苗)		小川 晋史 (岡田 一祐)		久保 蘭 愛 (山本 佐和子)	
	ホスト	幸松 英恵		永谷 直子		小出 祥子	
	10:00 10:40	A-1	江國香織『ヤモリ、カエル、シジミ チョウ』における文字表記による 表現効果 細河 紗羅	B-1	平仮名表記における 緩やかな綴りの固定について 渡辺 悠里子	C-1	中世における呉音・漢音の 交替による漢語の語形変化 大島 英之
	10:50 11:30	A-2	現代日本語における 形容詞の述定と装定の機能差 —「深い」を中心に— 馬 文清	B-2	近世唐音のゼロ韻尾字にみられる 長音表記と非長音表記の 混在について 王 竣磊	C-2	『金光明最勝王経音義』 成立過程の再検討 —「仏典音義データベース」の 構築と分析から— 李 乃琦
	11:40 12:20	A-3	副詞的修飾成分「べつに」の 働きと位置づけ 仲谷 絹	B-3	日本語オノマトベにおける 音象徴の探索 —辞書と機械学習によるアプローチ— 飯田 雛乃・Alexander Kilpatrick	C-3	『三宝絵』二伝本における MVR・ハ使用率の比較研究 小玉 花菜
休憩 (70分)							
セッション2	司会(補助)	幸松 英恵 (中崎 崇)		中澤 光平 (永谷 直子)		小出 祥子 (久保 蘭 愛)	
	ホスト	田村 早苗		小川 晋史		山本 佐和子	
	13:30 14:10	A-4	状況「を」句の対象性 佐藤 友哉	B-4	真偽疑問文における 「か」あり／なしの違い —フォーマリティとの関わりに 着目して— 姚 夢琳	C-4	脱従属化の観点から見た接続助詞 ノニの情意に関する通時的 研究 赤尾 莉央
	14:20 15:00	A-5	日常会話 (CEJC) における 包括的助数詞の使用実態 —〈つ〉〈個〉による助数詞の 代替機能に注目して— 山本 晃子	B-5	逗子市小坪漁港の漁業者集団語の 語彙体系の解明と特徴の考察 佐藤 旺斗	C-5	「AテモBテモ」構文の成立について —「AドモBドモ」との 比較を中心に— パーマー パトリック
	15:10 15:50	A-6	与格主語構文の意味的特徴の再検討 西郷 太一	B-6	出雲仁多方言における ピッチ上昇位置と分節音の 関係およびその変化について 平子 達也		
休憩 (10分)							
大会式典会場 (ovice)							
司会 (補助)	高木 千恵 (矢田 勉)						
16:00 16:20	大会式典		会長挨拶 日本語学会会長 木部 暢子 学会賞授賞式				
談話室	10:00-15:50	オンライン談話室 (ovice)				会場担当: 森 勇太・大槻 知世	
懇親会	16:30-18:00	オンライン懇親会 (ovice)				司会: 高木 千恵 会場担当: 森 勇太・大槻 知世	

ワークショップ		A会場 (Zoom1)			
セッション3	ホスト (補助)	矢田 勉 (久保蘭 愛)			
	9:30 11:00	ワークショップ 通時コーパスをひらく — 『日本語歴史コーパス』と『OpenCHJ』 — 小木曾 智信・北崎 勇帆・久保 亜子・鴻野 知暁・田中 牧郎・村上 謙・村山 実和子・渡辺 由貴			
	休憩 (20分)				
ポスター発表／オープン学生セッション (ovice)					
セッション4	会場担当	幸松 英恵 (会場全体), 岡田 一祐 (P-1), 田村 早苗 (P-2), 永谷 直子 (P-3), 小川 晋史 (P-4) 有田 節子・中澤 光平・山本 佐和子 (オープン学生セッション)			
	11:20 12:20	P-1	BCCWJ2のメタ情報の設計—出典情報について— 山崎 誠・高橋 雄太・呉 寧真・ 近藤 明日子・小木曾 智信	G-4	材料・原料を表す「で」と「から」 松浦 千紗
		P-2	小学生と中学生の作文にみられる文末の時制表現の誤用 —「児童・生徒作文コーパス『ちょっとおかしな日本語』検索サイト」を用いて— 加藤 恵梨・八木 豊	G-5	使役助字による『日本書紀』区分論の検討 呉 子凡
		P-3	ジブリ作品の役割語—虚構度を指標として— 安井 寿枝	G-6	創作媒体の相違が助詞使用に及ぼす影響 —同一作者による作品の比較分析— 石井 遥尊・宮崎 順大
		P-4	人物の性格と使用する人称詞との関係について —アニメーション作品を資料として— 深田 芽生	G-7	ライトノベルにおける色彩語の特徴 —— 般文芸との比較を通して— 柴原 麻衣
		G-1	確認要求場面における日本語母語話者と 学習者のくり返し応答 — 応答の語用的機能に着目して— 陳 月明	G-8	変体漢文における「処 (トコロ)」の 成立と変遷 潘 曉琦
		G-2	近代における授与動詞ヤル・アゲルの変遷 石橋 恒乃	G-9	水産関連商品への方言活用が消費者選好に与える影響 田崎 璃音
		G-3	生成AIを用いたテキスト画像化・動画化機能による 『日本語辞典』の発展的意味記述法の探索 —ダジャレ表現を対象として— 永田 るの・尾高 柚子・中澤 萌音・石川 萌加・ 工藤 美桜・佐藤 百華・會田 美水里・新井 よしの・ 原田 麻未・香取 里美・佐井 春香・松本 莉沙子・ 内藤 果恋・小林 茉凜・安西 凜・檜垣 沙也菜	G-10	日本語における多義語の字義的意味と メタファー的意味の関係 —BERTによる分析— 盧 捷
				G-11	2拍語8構造パターンにおける母音無声化類型 —首都圏在住大学生を対象とする 音響音声学の・計量的分析をととして— 近藤 祐史・浅野 利音・名尾 萌花・吉野 華・ 朽津 陽彩・森 紀世春・小林 浩乃・中澤 茉央・ MOON SEOHYUN・TAN XIAOZHEN
	フリータイム (15分)				

オープン学生セッション (ovice)					
セッション5	会場担当	森 勇太 (会場全体) 田村 早苗・中崎 崇・永谷 直子・矢田 勉 (オープン学生セッション)			
	12:35 13:35	G-12	「Vラレタイ」構文の意味分析に関する一考察 李 鋭	G-19	単漢字イメージの中国語翻訳における 形態変化に関する考察 —『二十億光年の孤独』(田原訳)の分析に基づいて— 王 凌志
		G-13	国立国語研究所『鶴岡調査データベース』第2回調査 回答データ音声・音韻項目の要因モデル —生え抜き話者を対象とした、 現象ごと・語ごとの共分散構造分析モデル— 吉川 心遥・竹内 瑠衣・尹 智愛・杉原 奏音・村瀬 瑠々	G-20	イメージと規範意識から見る日本語自称詞の選択動機 —自称詞「ウチ」の使用を通して— 楠瀬 百合
		G-14	「絵文字・顔文字」と「コメント文」における 感情情報のクロスオーバー研究 本多 彩愛・小澤 莉子・湯澤 ななみ・ 坪井 夕佳・小林 茉凜・尾高 柚子・ 中澤 萌音・内藤 果恋・岩瀧 舞優	G-21	方言カス型動詞の多様性 田形 周造
		G-15	「になる」に前接するサ変名詞について 大前 遼	G-22	漢和辞典の字音収録・認定の現状 —直近の漢和辞典における慣用音をめぐる 字音収録・認定の記述を中心に— 呂 沅釗
		G-16	近代国語辞書における収録語の語種別割合 —「ア～アオ」の区間の比較— 中尾 涼	G-24	対称代名詞「あなた」はどう使われているか —『日本語日常会話コーパス』からの用例分析— 北島 美奈
		G-17	日本語の連体修飾要素の機能に関する再考察 俣平 洸希	G-25	現代日本語の評価の「また＋形容詞」 王 馨由
		G-18	西周における「経済学」という語の理解に関する一考察 魯 俏楚	G-26	自然談話における文末の同意要求表現 —自然談話を用いた研究手法を探る— 中田 麻祐子
		フリータイム (15分)			
	休憩 (10分)				
シンポジウム会場 (Zoom4)					
セッション6	司会	堤 良一			
	ホスト (補助)	佐伯 暁子 (岡田 一祐)			
	14:00 17:00	シンポジウム 日本語研究と辞書編纂の接点を求めて 外国語学習に資する用例とは何か—対象言語・学習者レベル・辞書サイズの違いを越えて— 小室 夕里 発信のための国語辞書に必要な情報は何か—校閲者の視点から— 稲川 智樹 総合的な「日本語辞書」は可能か—「中央語」と「方言」を驚づかみにする— 金水 敏 企画担当 佐伯 暁子・堤 良一			
談話室		9:30-17:00 オンライン談話室 (ovice)		会場担当: 森 勇太・大槻 知世	
書籍展示ブース		11:00-14:00 オンライン書籍展示 (ovice: オンライン談話室内)			